

第 21 回定時株主総会
「事業報告の主な内容、および、連結計算書類の概要」

事業の経過及び成果



エンターテインメント業界

＜国内モバイルゲーム市場＞

一部の大ヒットタイトルの売上高が減少へ転じる中、有力IP（知的財産）を用いたタイトルや、中国・韓国発のタイトル、女性向けタイトル等の多様なタイトルが市場拡大に貢献

＜国内家庭用ゲーム市場＞

新型ハードが牽引役となり、11年ぶりにハード・ソフト市場ともに前年の市場規模を上回る

＜アミューズメント市場＞

ゲームセンターの入店規制緩和による客数の増加やプライズ機の人気等により、再び市場が活況

＜音楽映像市場＞

パッケージ市場は依然厳しい状況も、アニメ関連やライブエンターテインメント市場は引き続き好調を維持

株式会社マーベラス、第 21 期事業報告の主な内容についてご報告させていただきます。

当社グループが属するエンターテインメント業界では、国内のモバイルゲーム市場におきまして、一部の大ヒットタイトルの売上高が減少へ転じる中、有力 IP・知的財産を用いたタイトルや、中国・韓国発のタイトル、女性向けタイトル等の多様なタイトルが市場拡大に貢献いたしました。

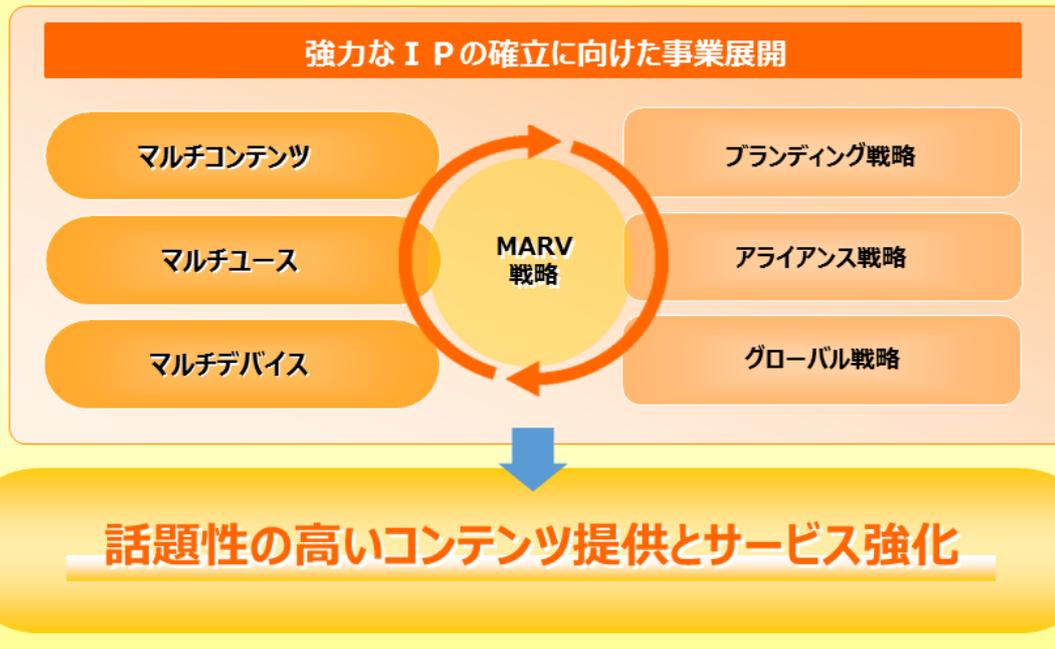
国内家庭用ゲーム市場におきましては、新型ハードが牽引役となり、11 年ぶりにハード・ソフト市場ともに前年の市場規模を上回りました。

また、アミューズメント市場におきましては、ゲームセンターの入店規制緩和による客数の増加やプライズ機の人気等により、再び市場が活況となりました。

音楽映像市場におきましては、依然としてパッケージ市場が厳しい状況ではありますが、アニメ関連やライブエンターテインメント市場は引き続き好調を維持いたしました。

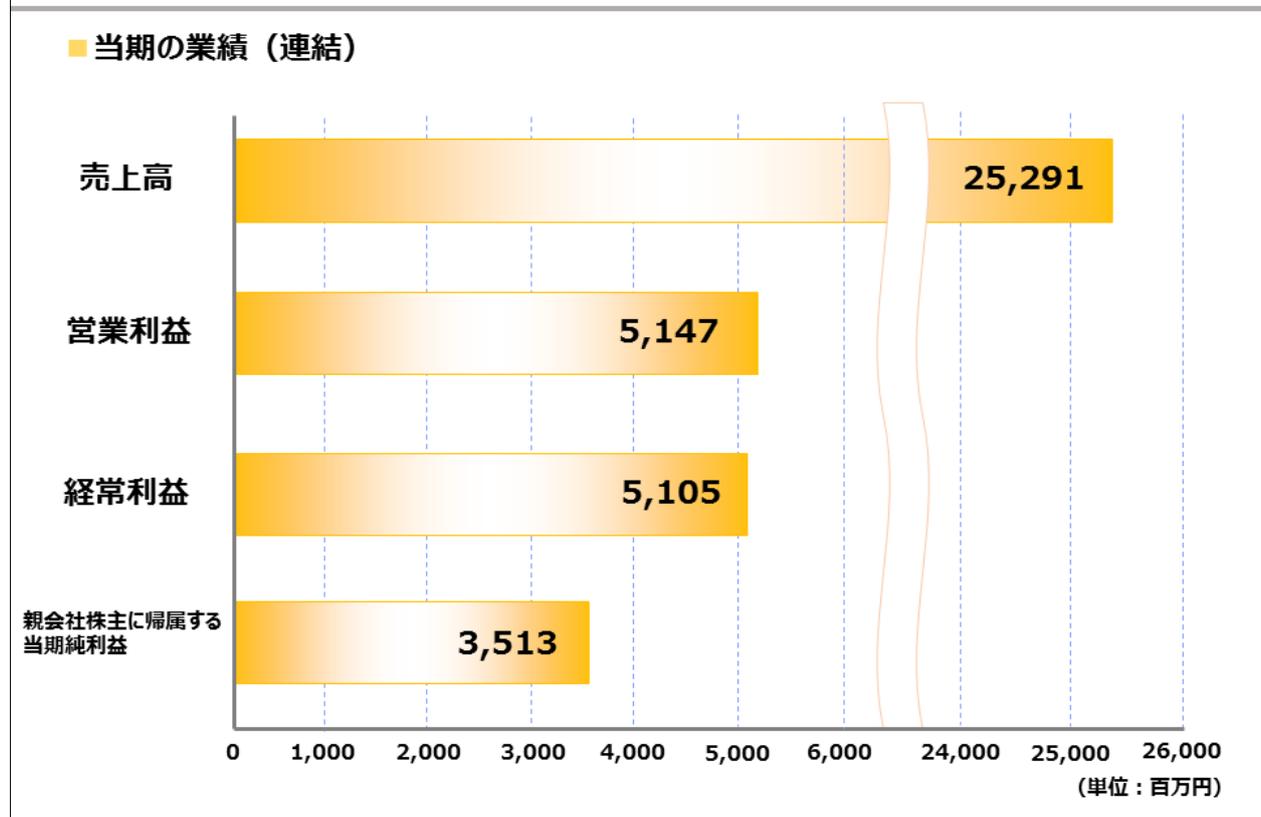
事業の経過及び成果

「多彩なエンターテインメントコンテンツ」を「あらゆる事業領域」において
「様々なデバイス」向けに展開する『総合エンターテインメント企業』



このような状況の下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力な IP の確立に向けたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

事業の経過及び成果



この結果、当連結会計年度の業績は、売上高 252 億 9,100 万円、営業利益 51 億 4,700 万円、経常利益 51 億 500 万円、親会社株主に帰属する当期純利益 35 億 1,300 万円となりました。

事業の経過及び成果 - オンライン事業



戦刻ナイトブラッド
(ネイティブアプリ)

©2017 Marvelous Inc. / KADOKAWA / IDEA FACTORY



おそ松さん よくばり! ニートアイランド
(ネイティブアプリ)

©赤塚不二夫 / おそ松さん製作委員会
©D-techno / Marvelous Inc.



シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK
(ネイティブアプリ)

©Marvelous Inc.
©HONEY PARADE GAMES Inc.

それでは次に、各事業の状況をご説明いたします。

まず始めに、オンライン事業についてご説明いたします。

当事業におきましては、スマートフォン向けゲームアプリ「戦刻ナイトブラッド」を平成 29 年 5 月より、「おそ松さん よくばり! ニートアイランド」を同年 9 月より、「シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK」を同年 11 月よりサービスを開始し、

事業の経過及び成果 - オンライン事業



ORDINAL STRATA -オーディナル ストラータ
(ネイティブアプリ)

© Fuji Games, Inc. / Marvelous Inc.



千銃士
(ネイティブアプリ)

©LINE Corporation / Marvelous Inc.



剣と魔法のログレス いにしえの女神
(ネイティブアプリ)

©Marvelous Inc. Aiming Inc.

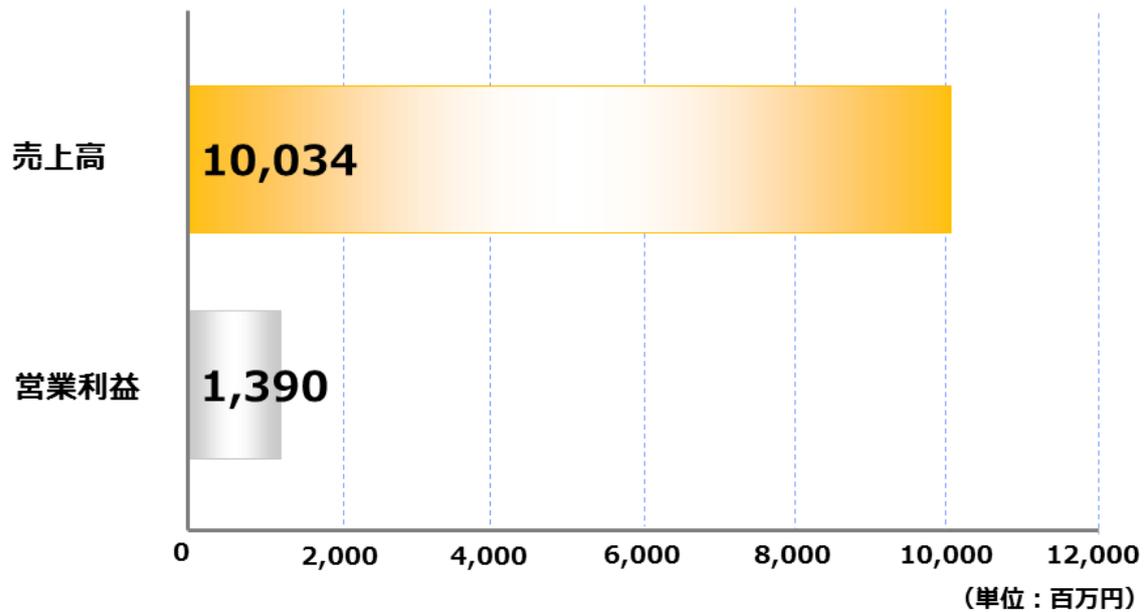
さらには、平成 30 年1月に「ORDINAL STRATA -オーディナル ストラータ」、同年3月に「千銃士」をリリースする等、多数の新作アプリゲームを送り出しました。

一方で、一部の不採算タイトルのサービスを終了したほか、当期リリースに向けて開発中であった一部タイトルの開発を中止し、それぞれの開発費用を一括計上いたしました。

また、既存の主力タイトル「剣と魔法のログレス いにしえの女神」につきましては、4周年イベント等で巻き返しを図ったものの、前期と比べて低調な推移となりました。

事業の経過及び成果 - オンライン事業

■ オンライン事業の業績



この結果、オンライン事業の業績は、売上高 100 億 3,400 万円、営業利益 13 億 9,000 万円となりました。

事業の経過及び成果 – コンシューマ事業

■ 国内自社販売



Fate/EXTELLA
(フェイト/エクステラ)
(Nintendo Switch)

©TYPE-MOON ©2017 Marvelous Inc.
Published outside Japan by XSEED Games/Marvelous
USA, Inc. and Marvelous Europe Ltd.



シノビリフレ
-SEN-RAN KAGURA-
(Nintendo Switch)

©2017 Marvelous Inc.
/HONEY PARADE GAMES Inc.



牧场物語 ふたごの村+
(ニンテンドー 3DS)

©2017 Marvelous Inc. All Rights Reserved.



閃乱カグラ Burst Re:Newal
(PlayStation®4)

©2018 Marvelous Inc./HONEY PARADE GAMES Inc.

続いて、コンシューマ事業についてご説明いたします。

当事業の自社販売部門におきましては、国内では、平成 29 年7月に「Fate/EXTELLA(フェイト/エクステラ)」を、同年11月に「シノビリフレ -SEN-RAN KAGURA-」を、同年12月に「牧场物語 ふたごの村+」を発売、さらに平成 30 年2月には「閃乱カグラ Burst Re:Newal」を発売し、それぞれ順調なセールスとなりました。また、旧作のリピート販売等も好調に推移いたしました。

海外におきましては、当社主力シリーズの北米・欧州等への展開を行い、こちらも好調に推移いたしました。なお、第4四半期におきまして、ソフトウェア資産等の売却を行ったため、一時的な収益が発生いたしました。

事業の経過及び成果 – コンシューマ事業

■ アミューズメント



ポケモンガオーレ
(アミューズメント)

©2018 Pokémon. ©1995-2018 Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.
Developed by TRARTS and MARU
ポケモン-Pokémonは任天堂・オリニクス・ゲームアークの登録商標です。



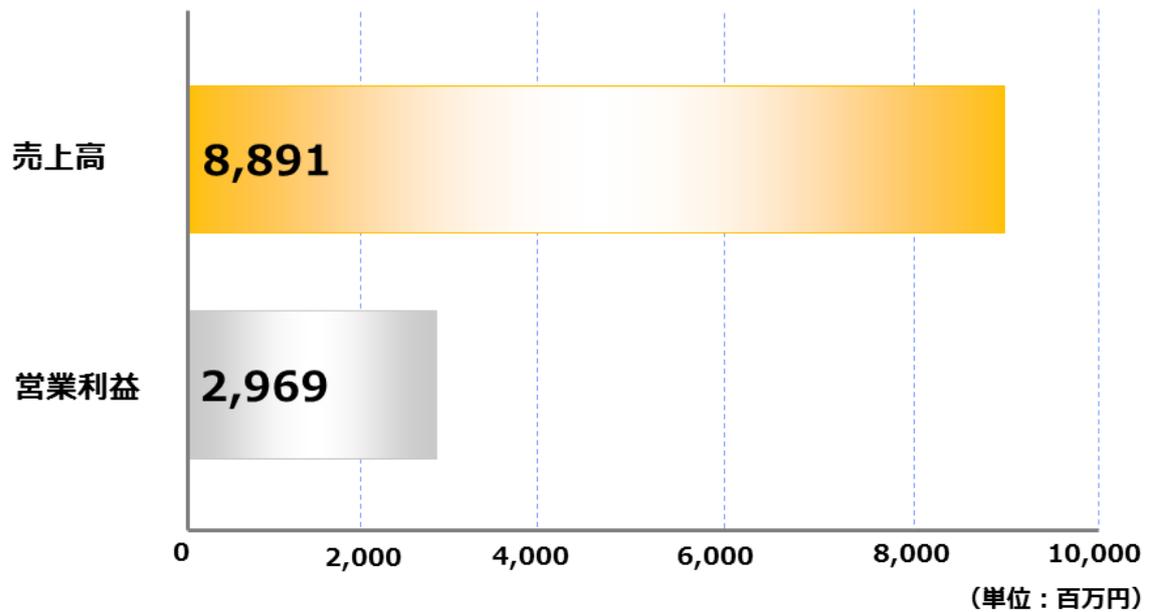
TRYPOD (トライポッド)
(アミューズメント)

©Marvelous Inc.

アミューズメント部門におきましては、前期より好評稼動中の「ポケモンガオーレ」が引き続き好調に推移したことに加え、新機軸のプライズマシン「TRYPOD」を平成29年11月より出荷を開始し、好調なセールスを記録いたしました。

事業の経過及び成果 - コンシューマ事業

■ コンシューマ事業の業績



この結果、コンシューマ事業の業績は、売上高 88 億 9,100 万円、営業利益 29 億 6,900 万円となりました。

事業の経過及び成果 – 音楽映像事業

■ 音楽映像制作



『キラキラ☆プリキュアアラモード』

©ABC-A・変換アニメーション



『刀剣乱舞-花丸-』

©2016 アニメ『刀剣乱舞-花丸-』制作委員会



『戦刻ナイトブラッド』

©2017 Marvelous, Inc.・MIDOKAWA・D&A FACTORY/
電研プロダクション

続『刀剣乱舞-花丸-』

©2018 Nitroplus・DMM GAMES/続『刀剣乱舞-花丸-』制作委員会



『Fate/EXTRA Last Encore』

©TYPE-MOON/Marvelous, Aniplex, Notes, SHAFT



『HUGっと!プリキュア』

©ABC-A・変換アニメーション

続いて、音楽映像事業についてご説明いたします。

当事業の音楽映像制作部門におきましては、TV アニメ『キラキラ☆プリキュアアラモード』等のパッケージ商品化を行ったほか、前期に放送したTVアニメ『刀剣乱舞-花丸-』のBlu-ray・DVD販売が引き続き好調に推移し、これらのタイトルを含めたライブラリ作品の配信・番組販売・商品化といった二次利用収入が引き続き好調に推移いたしました。

また、平成29年10月よりTVアニメ『戦刻ナイトブラッド』を、平成30年1月よりTVアニメ「続『刀剣乱舞-花丸-』」とTVアニメ『Fate/EXTRA Last Encore』を、さらには平成30年2月よりプリキュアシリーズの新作TVアニメ『HUGっと!プリキュア』の放送を開始いたしました。

事業の経過及び成果 – 音楽映像事業

■ ステージ制作



舞台『刀剣乱舞』義伝 暁の独眼竜

© 舞台『刀剣乱舞』制作委員会



舞台『刀剣乱舞』ジョ伝 三つら星刀語り

© 舞台『刀剣乱舞』制作委員会

『あんさんぶるスターズ！エクストラ・ステージ』
～Judge of Knights～

© 2016 Happy Elements K.K./あんスタ制作委員会

『あんさんぶるスターズ！オン・ステージ』
～To the shining future～

© 2016 Happy Elements K.K./あんスタ制作委員会

ステージ制作部門におきましては、主力シリーズの新作、「舞台『刀剣乱舞』義伝 暁の独眼竜」や「舞台『刀剣乱舞』ジョ伝 三つら星刀語り」、「『あんさんぶるスターズ！エクストラ・ステージ』～Judge of Knights～」や「『あんさんぶるスターズ！オン・ステージ』～To the shining future～」が特に好調に推移し好業績を牽引したほか、

事業の経過及び成果 – 音楽映像事業

■ ステージ制作



ミュージカル『テニスの王子様』

© 許登 剛/興英社・N.A.S・新テニスの王子様プロジェクト
 © 許登 剛/興英社・テニス製作委員会



ミュージカル『薄桜鬼』

© アイディア・アウトリーチ・デザイン・フロンティア「薄桜鬼」製作委員会
 © ミュージカル『薄桜鬼』製作委員会



舞台『K』

© GoRA・GoHands/le-project
 © GoRA・GoHands/stage le-project



舞台『弱虫ペダル』

© 渡辺 航 (週刊少年チャンピオン) / 弱虫ペダル04製作委員会
 © 渡辺 航 (週刊少年チャンピオン) / マーベラス・東宝・アルタメイト

定番シリーズの、「ミュージカル『テニスの王子様』」、「ミュージカル『薄桜鬼』」、「舞台『K』」、「舞台『弱虫ペダル』」の新作公演を実施いたしました。

事業の経過及び成果 – 音楽映像事業

■ ステージ制作



舞台『ジョーカー・ゲーム』

©KADOKAWA/JOKER GAME ANIMATION PROJECT
©JOKER GAME THE STAGE PROJECT



B-PROJECT on STAGE『OVER the WAVE!』

©IMAGES/STAGE B-PROJECT



舞台『モブサイコ100』

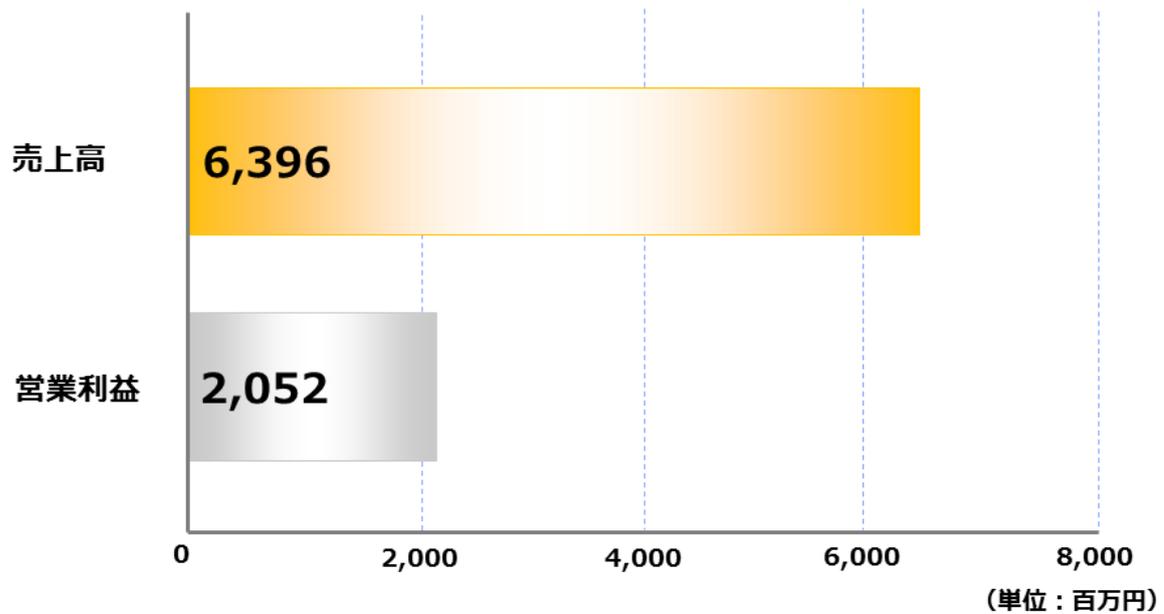
©ONE-小栗謙/舞台『モブサイコ100』製作委員会

また、当期の新作といたしまして、「舞台『ジョーカー・ゲーム』」、「B-PROJECT on STAGE『OVER the WAVE!』」、「舞台『モブサイコ 100』」を実施し、好評を博しました。

このほか、各シリーズのパッケージ販売、ライブビューイング、国内配信事業等が好調に推移いたしました。

事業の経過及び成果 – 音楽映像事業

■ 音楽映像事業の業績



この結果、音楽映像事業の業績は、売上高 63 億 9,600 万円、営業利益 20 億 5,200 万円となりました。

以上で、「事業の経過及び成果」についてのご報告を終了させていただきます。

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	平成29年3月末	平成30年3月末	前期末比増減
流動資産	19,285	21,412	+2,127
固定資産	4,943	4,075	▲867
資産の部合計	24,228	25,488	+1,260
流動負債	7,626	7,024	▲602
固定負債	62	50	▲12
負債の部合計	7,688	7,074	▲614
純資産の部合計	16,539	18,414	+1,874

それでは次に、連結計算書類についてご説明いたします。

連結貸借対照表につきましては、資産の部は、流動資産が214億1,200万円、固定資産が40億7,500万円、合計254億8,800万円となりました。

負債の部は、流動負債が70億2,400万円、固定負債が5,000万円、合計70億7,400万円となりました。

純資産の部は、合計184億1,400万円となりました。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	平成29年3月期	平成30年3月期	前期比増減
売上高	29,387	25,291	▲4,096
営業利益	5,754	5,147	▲607
経常利益	5,810	5,105	▲704
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,165	3,513	▲651

連結損益計算書につきましては、売上高 252 億 9,100 万円、営業利益 51 億 4,700 万円、経常利益 51 億 500 万円、親会社株主に帰属する当期純利益 35 億 1,300 万円となりました。

なお、その他の事項につきましては、招集ご通知に記載のとおりでございます。

以上で、事業報告の主な内容、および、連結計算書類の概要についてのご報告を終了させていただきます。

以上

※本資料は、第 21 回定時株主総会におきまして使用いたしました、ビデオナレーションによるプレゼンテーション資料を書き起こしたものです。